

林檎の森

りんごのもり



特集

令和元年産青森りんご ベトナム向け輸出解禁

～新アイテムとしてシルバーふじが販売開始～



今回は、新たな市場開拓として始まったベトナム向けリンゴ輸出における5年目の現状を産地一体となって情報共有するた
め、我々視察団が感じてきた全てを皆様に発信したいと思う。
美味しい日本産リンゴの消費拡大に向けて、今後の取組強化
を図りたいと思う。

5年目の旧正月

新たな市場として有望視されて
いるベトナム社会主義共和国。現
在は、ふじ・王林・金星等の日本
産リンゴ6品種が輸出されてきた。
また、元年産においては、当JA
が手掛けるシルバーふじが新たに

輸出され、ベトナム市場では青森
県産リンゴの一つとして好評だっ
た。シルバーふじについては、高
糖度を可能とする「こだわり栽培」
による栽培方法が用いられ、甘み
の高い黄色いリンゴとして飛躍の
第一歩を遂げた。これは、ベトナ
ムの嗜好に合わせた商品としてベ

トナム限定での販売を目標とし、
今年は試験的に販売を開始。現地
では、人気のある金星に次ぐ新商
品として、注目される結果となっ
た。一方、王林については、我々
の予想を超えるブームが訪れてい
るようだ。消費者への試食を重ね
たことで「青いリンゴは酸っぱい」
といった現地でのイメージを吹き
飛ばし、王林の定着を実現させつ
つある。前年度に比べて、ベトナム
市場からの要望も増加傾向にある
ほか、他品種に比べて1kgあたり
の単価も魅力的となっている。現

青森りんご 向け輸出解禁 シルバーふじが販売開始～

地における価格は決して安価なわ
けではないものの、消費者を虜に
する魅力は存分に秘めていたこと
になる。王林や金星といった甘くて
美味しい黄色品種ファンの嗜好に
応えられていることが感じられた。
今後も継続的に、消費者の嗜好に
応えられるよう我々産地は信頼関
係を築き上げ、安心安全な日本産
リンゴを届けなければならぬ。
やはり、早期出荷による単価高を
狙うことは決して良くないことか
ら、適期収穫と販売戦略を考慮し
た販売を私達はもう一度振り返る
必要があるのではないだろうか。

輸出条件緩和の姿勢

青森県産リンゴが輸出されてか
ら早5年の月日が流れ、今年は、
また新たな時を迎えようとしてい
る。現在に至るまで、ベトナム向
けリンゴ輸出においては、日本の
輸出条件として有袋果のみが輸出
可能となっていた。しかしながら、
青森県による度重なる輸出条件緩
和に向けた交渉の末、無袋果解禁
への動きが本格化している。今の
ところ、冷蔵施設で1ヶ月間の低
温処理を行うことによって、無袋

金星に次いで

「王林」も好調

甘くて美味しいリンゴ人気!



クレバーフルーツ店内

果の輸出が許可される方向へと向かっている。しかしながら、輸出条件である対象病害虫の圃地検査等の壁は我々にとって非常に難しい点が多く、出荷量的には少ない方向で進んでいる。台湾向けの輸出条件とは異なり、補助検査員等の労力が追いつかない状況となっている。無袋果解禁に向けて、日本産リンゴの主力商品であるサンふじがベトナム市場に並ぶ日が待ち遠しい一方で、有袋果の暴落が脳裏を過る。無袋果解禁による期待とは裏腹に、マイナス要素も兼ね備えているところも過言ではない。

これは、販売戦略によって大きく変わってくるだろう。我々は、これまでのリンゴ輸出における教訓をもう一度見直す必要がある、まずは、国内供給バランスを考慮した上での販売戦略を産地一体となつて考えて行く必要があるだろう。しかしながら、そこまでしてベトナムに輸出をするメリットがあるとは言いつまでもなく、農家所得向上に結び付くチャンスを見逃さないためにも、我々JAグループ及び市場関係者は、再びベトナム社会主義共和国へと足を踏み入れた。

特集

令和元年度産ベトナム

～新アイテムとして

輸出解禁イベント

昨年12月、JA全農あおもりを筆頭に日本産リンゴ解禁イベントを開催。ハノイ市とホーチミン市を中心に、イオングループや高島屋など、名だたる大型商業施設で販売を開始。前年度に引き続き、輸入販売業者や多くのフルーツ店で日本産リンゴが店頭で扱われていた。解禁イベントは、昨年にオープンした大型商業施設ギガモールで開催し、朝から若者を中心とした来場客で賑わいを見せた。ベトナムの平均年齢は30歳と云われており、

街には若者が溢れている。そして、街の各地には煌びやかな装飾が施された建物等が多くあり、若者たちがスマートフォンを片手に写真を撮っている。世界各国で流行っているインスタグラムに投稿するなど、友人とのコミュニケーションを図っているようだ。今回の解禁イベントにおいても、この会場をより多くの人たちに知ってもらうために、着物を準備してインスタグラム用のbackgroundを設けるなど、数多くの消費宣伝戦略が用いられていた。桜に着物とリンゴは、日本（青森）の風情を存分に感じさせる空間であった。その効果は解禁イベントの参加人数に大きく反映されていたことは言いつまでもないが、今年の消費宣伝効果も大きな力を発揮するものとなった。

商談の行方

今回訪れた商談先は、前年度に引き続き、トニーフルーツとクレバーフルーツの2社。いずれも、輸入販売及び卸売業等を営む大手だ。商談では、現在の販売状況や消費者の嗜好、今後の展望などが挙げられた。やはり、両者の意見

令和元年度産「青森りんご」輸出解禁イベント



青森中央会の阿保会長が青森りんごの素晴らしさをPR!



2019年に新たにオープンしたギガモール（ホーチミン市）



当JAのりんご出荷者も現地を視察



来場者が自身のInstagramに写真を投稿してイベントを周知



多くの来場者が会場を訪れ、大盛況



市場関係者ととも商談を進めるJA全農あおもり福嶋りんご課長

は今まで以上に青森りんごを扱っていききたいということ、小玉果等を含む割安な商品の取り扱いで消費者層の幅を広げたいとの要望があった。決して、大玉で高品質なりんごの販売を減らすということではなく、多彩な商品の販売も手掛けていきたいとのことである。我々としては、まだ日の浅い5年目のベトナム向け輸出ということもあり、慎重な意見が交わされたものの、今後の展望としてお互いに交渉が進んだ。やはり、無袋果解禁に向けた現状もあることから、慎重になることは当たり前であるのと言つまでもないが、生産者の所得向上に向けて、有袋果の販売実績向上を胸に現地の要望を取り入れていく方針だ。無袋果に

ついでには、輸出に係る船便での出荷が常温の為、サンふじの蜜入りによる、褐変に最大限の注意を払って商品ロス軽減を考えていかななくてはならない。実際に、現地で味わった日本産有袋果でさえ、一部軟質果も見られたことから、鮮度重視の販売を優先するとともに、日本産りんご本来の美味しさを海外で味わってもらえるように努力していきたいところだ。スマートフレッシュや現地の冷蔵施設完備等の推進も含め、輸出を広げていく上で大きな課題の一つとなってくるだろう。

いずれにしても、安心安全で、高品質な日本産りんごは他国産りんごに比べて非常に高い値段で販売されていることから、高値であっても日本産りんごを支持して頂いている消費者の期待を裏切ることがないように今後も販売していきたいところだ。現在のりんご販売事情を考慮するためにも、国内需要と供給のバランスを崩すわけにはいかないのだから。

シルバーふじ

令和元年度産から試験的に販売を



シルバーふじが販売開始

開始したシルバーふじ。ベトナムでは、甘くて黄色いリンゴが人気であるものの、産地では金星の生産量が減少傾向にあることから、当JAは試験的にシルバーふじの栽培と販売に取り組んでいる。

現地ではシルバーふじの試食を実施してみると、甘さや肌艶の他に日本産りんご本来の歯応えが感じられる商品であることを感じることも出来た。産地で味わう完熟の美味しさとは多少異なっていたものの、船便による鮮度低下の改善を視野に更なる飛躍を目指していきたいと思う。一方、シルバーふじの現地販売価格（2,000円／1kgあたり）は、JA全農あおもりの後押しを受け、今のところ順調に推移しており、美味しい日本産リンゴの一つとして評価を受けていた。

シルバーふじの栽培方法について



1kgあたり2,000円を超える青森県産リンゴも

では、県内外の取り組まれており、市場関係者からは、糖度が以前よりも高く、贈答シーズンや海外向けをコンセプトとして数量を限定的に取り組むようアドバイスを受けた。しかしながら、当JAの贈答シーズンにおける選果スケジュールが非常に厳しい状況となっているほか、栽培面においても問題が多く見え始めているのも現状だ。省力化や他品種への労力分散は非常に魅力的であるものの、袋剥ぎにかかる労働力が多少かかるほか、一般的な「葉取らず栽培」に取り組んできた生産者については、省力日数が思いのほか軽減されていない結果も一部みられている。また、近年、有袋果に見られるトビムシの発生も問題点の一つ



米国産ガラは1kgあたり310円で販売されていた

となっており、園地によっては防除薬剤の変更も視野に入れなければならぬ状況だ。さらに、シルバーふじについては、輸出検疫上、袋が破れ、リンゴに着色が確認されると輸出できないほか、果皮の蜜浮き・サビ果・小玉果なども散見され、非常に製品化率が悪いことも分かってきた。来年度は、これらの問題を含めて有袋栽培に係る袋のサイズアップやトビムシ防除、32・36玉を目標とした登録園地の検討が求められている。シルバーふじは、省力化における手取り最大化や高糖度で大玉果を狙った販売を目指していることから、今年度の栽培及び販売実績を見つめ直し、来年度も試験を重ねていく方針だ。

現地視察を終えて

今回のベトナム向けリンゴ輸出に係る消費宣伝及び商談で感じた

ことは、日本産リンゴの進出規模が今まで以上に大きくなっていくのではないかとこの点だ。また、スマートフレッシュを使用しない日本産リンゴの売り場における品質低下（軟質果）により、外国産リンゴとの販売競争率の激化が懸念されると感じた。現地での品質が低下した日本産リンゴは、やはり現地に足を運んだからこそ感じられたことであつた。外国産リンゴに打ち勝つためにも、この驚異を胸に産地一体となつて今後の重要課題としていきたいところだ。この危機感を視野に、アジアを中心とした輸出販売への取組強化を図り、更なる飛躍を目指して努力して参ります。令和2年産リンゴも適期収穫で美味しい飛馬りんごを作り上げましょう。



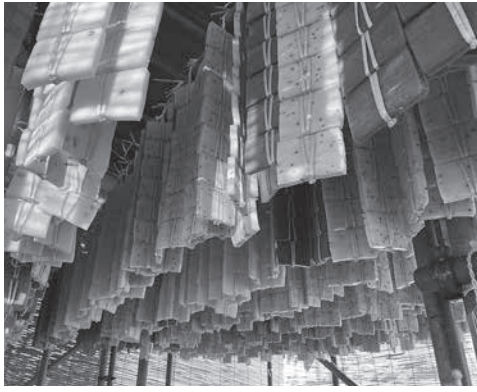
クレバーフルーツ新店舗にて記念撮影する関係者

相馬自慢の干し餅

01

当JA特産販売課では、毎年行っている干し餅作りが1月6日から始まった。

この干し餅作りは毎年行っており、直売所や各支所、りんご公園、ねぶた村にも出荷している。味はカボチャやハックルベリーなど計9種類と多く、子供から大人までを楽しませている。そのうちコーヒートゴマ以外の材料は全て相馬管内で採れた野菜や果物を使っている。「今年は暖冬で仕上がりに心配していたが、無事美味しく完成しホッとした。」と従業員は述べていた。



大人気の黄色いカボチャの干し餅が並ぶ

林檎の森 仮店舗がオープン

02

去年12月30日で店舗改装の為に休業を行った直売所「林檎の森」が、1月11日から仮店舗にてオープンした。

1月7日に旧店舗から移動を開始したが、その期間中にも買い物に来た方から、「いつからオープンですか。」などと尋ねられるなど、直売所が愛されていることを確認することが出来た。

「仮店舗では狭い売場の中不便お掛けしておりますが、新店舗でのリニューアルを是非楽しみにしてほしい。」と所員は語っていた。



リニューアルを大きく宣伝する仮設店舗

今年の防除暦編成参考に

03

1月15日、JA相馬村共防連令和2年防除暦編成会議が本所大会議室にて行われ、共防連加入者21名が参加した。

始めに青森県農林水産部構造政策課 担い手育成グループの川辺歩主幹から農作業事故の実態と事故事例から見る改善ポイントが説明された。事故が起きているのは大半が樹園地であり、梯子や高所作業台の安全な使い方を推進していた。また、参加者は「ヒヤリハット体験チェックシート」を記入し、今までの農作業でのヒヤリハット体験を振り返っていた。

これから行われる農作業に「焦らず、急がず、慎重に、を心掛け安全第一で作業して下さい。」と注



農作業事故の啓発に努めた川辺主幹

意を促していた。

次に蝦名農業振興課長補佐から令和元年に発生が多かったビタービットやダニについて話があった。

黒星病については、春先の好天と丁寧な薬剤防除によりほとんど発生が見られなかったが、今年度も油断せずに防除を徹底してほしいとのこと。また、ダニが孵化してから成虫になるまでのサイクルを復習し、ダニ剤を散布するタイミングなどの目安も話された。今年もしっかり予察を行い素早い対処で取り組んでいきたいとJA、共防連加入者は意気込んだ。



今年も高品質りんごの生産に気合が入る

topics

桃の剪定の知識深める

04

長野県で桃を生産している藤田清隆さんが相馬管内にて1月20日、相馬管内の桃生産者に剪定会を行った。

藤田さんは長野県のJAで指導員を経て、藤田農園を経営しており、毎年相馬管内で桃の生産者へ剪定会を開いている。参加した生産者は「この枝は切った方がいい。」「この枝は残して様子を見よう。」など藤田さんと会話しながら剪定の知識を深めていた。



桃の剪定のポイントを話す藤田さん（写真右端）

topics

わい化の剪定技術高める

05

JA相馬村わい化研究会では1月28日、見本樹剪定会を開催した。当日2班に分かれ、参加者の園地にて役員が剪定作業を行った。講師と参加者で相談し合いながら剪定し、「この場合ならどうするか。」など日頃疑問に思っていた事を解消していた。

わい化研究会の三浦均会長は「これから剪定作業に限らず農作業で困ったことがあれば、みんなで共有し解決していきたい。」と士気を高めていた。



作業の意図を伝え理解を深める

topics

ライスロマンクラブ
総会開催

06

1月29日、当JA大会議室にて第14回ライスロマンクラブ通常総会が開催された。本人出席、委任状合わせて91人が出席し原案が全て可決された。

佐藤喜久男組合長は「今年は一反歩あたり8俵と、去年に比べ2俵ほど多く収穫でき、全量一等米で終えたことは皆様の協力のおかげだと思っています。」と感謝の意を表した。

令和2年産は、安定した生産量と高品質生産を目指していく事を組合員一同意気込んだ。



佐藤組合長が令和元年度の出来秋を説明する

topics

令和2年冬期講座開催

07

農業振興課では1月30、31日と冬期講座を行った。

初日の午前中には湯口地区の成田淳逸さんを講師に迎えて剪定会が行われ、あいにくの雨にもかかわらず37名の参加者が訪れ、剪定技術を熱心に学んでいた。

2日目の午後には、農研機構が農作業事故に繋がる視野の広さを把握する、ゲーム形式のテストを参加者に行い、「難しかったがまだ安全に農業を続けることが出来ると分かって少し安心した。」と参加者は安堵の声を述べていた。



瞬時に判断を求められるゲームに集中する参加者

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部 堀井 裕子



女性部では、青森県の健康寿命を延ばしていくことと1月16日、弘前市中央公民館相馬館にて青森県がん・生活習慣病対策課健やか力推進グループが「農業女子健やか力向上セミナー」を開催し、部員29名が参加しました。



短命県返上を意気込む中路先生

セミナーの初めには、全国各地で健康についての講演を行っている弘前大学大学院医学研究科 特任教授 中路重之先生が「健康と若さ・美しさを保つ秘訣」について話されました。短命県である青森県の死亡率が一番多いのは第一次産業であり、特に生活習慣病が原因で亡くなる方が多いとデータが出ていました。しかし現在では様々な企業などで体操や血圧測定などを行っており、健康意識が高まっているようです。また、小学生の時から健康作りの意識を持たせようと、中路先生からの健康について授業が行われるなどの取組が多く行われているようです。

次に、骨密度や内臓脂肪などを

測定するグループと、運動体験グループを半々に分けて行いました。私の班は運動体験から始まり、青森県健康・体力作り協会の斉藤美雪健康運動指導士による、椅子に座ったまま行える運動を教えてもらいました。ももの付け根や裏を伸ばすストレッチから行い、筋肉トレーニングも行いました。40分間みっちり行い、うっすらと汗も流れていました。

体験した部員らは「出来る範囲で取り組める運動が多いから時間があれば続けてみようかな。」と体を動かす意識を再度持つ事が出来ていました。

健康度測定として体組成や骨密



呼吸を意識してストレッチ（写真右下斉藤指導士）

度測定等計5種類の測定を行いました。中でもロコモ測定という三段階に設定した段差に腰を掛け、片足と両足で立つ事が出来るかという測定方は、測定した部員らが「バランスが悪いから片足の力をもっと鍛えなければ。」と現状の筋力を確認していました。ロコモ測定のロコモはロコモティブ・シンドロームの略称であり、このロコモティブ・シンドロームは運動器が衰え、要介護の危険性が高い状態を指すため、参加者はこのロコモ測定に一番興味を持つ人が多

い様子でした。

最後に測定結果の解説を受け、近所の人と比べ合ったりしながら、結果として実年齢よりも若く出た人や、年齢よりも上になったりした人などがいて一喜一憂していました。また、同時に「健やかレシピ」という健康に配慮した青森県栄養士会が開発した間食メニューを3種類試食し、参加者は「美味しいし、これなら家でも簡単に作れるかもしれない。」と感想を述べていました。

このセミナーを通して働き盛りの方々も含め、家族みんなが健康に少しでも関心を持つてくれるような機会に繋がればいいと思います。



ロコモ測定を行う女性部員



J A相馬村青年部では、去年行った20代・30代検診の結果に基づいた保健指導を、JA本所にて行った。指導には弘前市役所の保健師6名が部員に一人ずつ対応し、診断結果によって指導がすぐに終わった部員もいれば、1時間以上かかる部員もいた。

保健指導を受ける前には当日の体重、体脂肪率を測定し、健診当日からどのように経過していたかを把握し、保健指導を受けていた。

部員らは気になる測定値があったことから緊張した趣で話を聞き、悪かった箇所の指導を受けていると、「確かに飲み過ぎだったな。」「最近運動してないな。」「などと言った自分の食生活や私生活を反省していた。その中で悪かったところをどうすれば早く改善していく事が出来るか等質問を積極的にし、真剣に話をしていた。

指導中には塩分チェックシートという部員らが日常で食べている食事の塩分をどれくらい摂取して



診断結果を目の前に落ち込む部員



診断書を基に指導を受ける部員



診断結果を見合い話し合う部員ら

いるのかを振り返り、その摂取量に応じての指導も行われた。実際に部員らは自分の摂取量が過剰であると確認し、「これから食事する時は塩分量を気を付けていこう。」「話す部員が多く見られた。

部員らは指導を受けた後集まり健診結果をお互い見て、悪かった数値の説明をし合い、「これから酒の量減らせるかな。」「という声や、「なんのスポーツやってみようかな。」「などみんなで改善できるところはしていこう」という意思が見えていた。

また、会場には日頃口にする事



休憩時間に口にする食べ物も見直す部員ら

が多い食品や飲み物に含まれる、塩分と糖分を実際に目で見えるサンプルをテーブルに並べ、部員らはそれぞれに含まれる塩分や糖分を確認し、「こんなに入ってるなら考えて食べなきゃだめだな。」と感じていた。

私も事務局として様子を見ていたがこうして1対1で指導してもらおう事で聞きたいことが聞きやすい環境で、このような機会を設けることで部員らもこれからも健康で仕事をしていく為に必要な事だと感じた。同時に柴田部長も「この健診はこれから毎年続けていきたい。」と意気込んでいた。

果実販売動向

販売課 米澤 松太



1月の果実動向は数量減の単価高で推移しました。みかんについては、末端での売り場は確保されていますが、年内から荷動きの緩慢な状況が続いたことにより、入荷は少ないものの流通在庫を抱えており、弱保合いでの推移となりました。いちごについては、暖冬傾向から一転して気温が低下したことや、悪天候が続いたことによる着色不良、端境期により不安定な入荷となり、引き合いの強さから概ね保合いでの推移となりました。りんごについては他県産が一部を除き概ね切り上がり、年末年始で仲卸在庫も整理されていることや連休を控えていたことなどから安定した荷動きとなり、堅調な価格で推移しました。しかし、中旬以降、春節（輸出）向け対応が終了し、国内向けへシフトしたことにより、越年在庫は少ないものの上位等級の多さと単価高から荷動きは緩慢となりました。特にサンふじの大玉果については輸出向

けの残量から比率が高いことや、王林についても順調な入荷のなか売り場は狭く、価格は下げ基調の展開となりました。その中で1月中旬から(谷)西友(関東地区)5店舗、(株)三越伊勢丹新宿店を皮切りに全国で消費宣伝を展開し、売場の拡大に努めています。

今後、いちごについては増加傾向にあり、食味不良とこれまでの高値反動から一転して弱保合いの状況にありますが、末端では積極的な企画展開や売り場拡大も進んでいることや、総体的に数量減の傾向にあることから、価格については概ね保合いでの推移が見込まれます。中・晩かん類については、荷動き自体は緩慢ですが、引き続き入荷が多くないことから市況は保合いで推移する見込みです。輸入果実については、バナナ・ぶどうを中心に昨年より多く入荷され、比較的值ごろであることから売場の中心としての展開が予想されます。りんごについては産地

在庫の少なさから入荷量は少ない見込みではありますが、一定の流通在庫と売場の狭さから荷動きはさらに停滞が予想されます。引き続き消費宣伝会の実施や、企画展開により売り場を確保し、相場の維持を図ります。



国内外にて消費宣伝会で売場確保に努める

単価は全農あおもりデータ（1/28累計）、在庫数量は県りんご果樹果作成（12月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	む つ	その他	合 計
単 価 (円)	3,231	5,229	3,079	3,117	4,778	2,984	2,946
前 年 比 (%)	114	95	105	114	93	107	105
在庫数量 (ト)	104,482	33,654	21,155	17,410	642	10,498	187,841
前 年 比 (%)	76	110	104	79	85	91	84

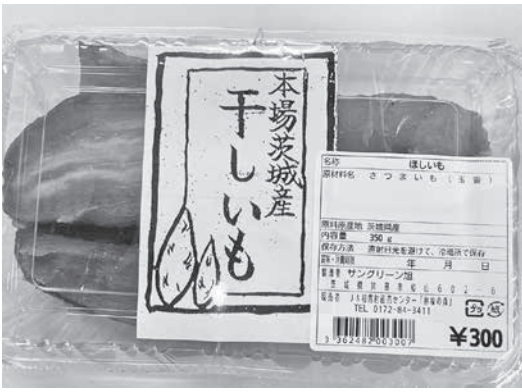
直売所「林檎の森」

直売所 千葉翔平



いつも「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

現在直売所では、干しいもの販売しております。原材料となっている「玉豊たまゆたか」という品種は、茨城県で一番の生産量で、全国の干しいもの約80%を占めていると言われています。干しいも農家が選り、干しいもを熟成させじっくり蒸かし、天日干しで仕上げました。値段は1パック350gを300円で販売しております。是非この機会にご賞味してみたいかがで



大人気の茨城県産干しいも

しようか。

また、干し柿や塩蔵野菜(高菜、塩蔵山菜(わらび、さもだし)、漬物(赤カブ、たくあん漬)など、多くの種類の加工品が並んでいます。中でも干し柿は、お客様に大好評でまとめて2、3パックと買って行かれるほど大好評です。干し柿の表面に付着している白い粉は、柿の実の糖分が結晶化したものでブドウ糖や果糖である為、砂糖の1.5倍程甘くなると言われています。甘味の増した干し柿を食べてみてください。

リンゴは、名月や青林、サンふじ、王林等多数のリンゴが並んでいます。名月は果皮の一部がほんのりと赤く着色しているものが多く、味は甘味が強く、酸味が少なめでとても歯ごたえがあり、香りが良く果汁が豊富です。



売場に色とりどりのリンゴが並べられる

蜜がたっぷり入ったりりんごもありますので召し上がってみてください。青林は香りが良く黄色種で、若干緑色や赤色の部分があります。また、王林に比べ果点が少ないのが特徴で生産量が少ない為幻のリンゴともいわれております。王林のようなシャリシャリ感とふじのようなみずみずしさの中間で楽しめるような食感です。是非召し上がってみてください。なお、生産量が少ないためお早めのご購入をお願い致します。

「林檎の森」からのお知らせ

「りんごの森」は1月11日から、向かいの湯口支所駐車場の仮設プレハブにて営業を再開しました。営業時間は9時から17時までとなっております。なお、会員の搬入時間は8時45分からとなっておりますので間違えの無いようにお願いします。

そして、会員の皆様には、リンゴ出荷の際に、ツルワレが著しく大きいもののお出荷はご遠慮お願いします。また、加工品の賞味期限の記入漏れが見られますので、出荷の際には記入の確認を宜しくお願いします。また、賞味期限切れの商品の引取りもお願いします。

現在の売場は、以前と比べ商品を並べる場所が狭くなっておりますので、商品の搬入出荷は少しずつ適量で出荷して下さい。また、ボードン各種資材は必要であればスタッフにひと声かけて頂き、数量を伝えて下さる様お願い申し上げます。

直売所新店舗での営業は3月中旬を予定しております。ご不便をお掛けしておりますが皆様のご協力よろしくお願致します。

農業ごみの適正排出について

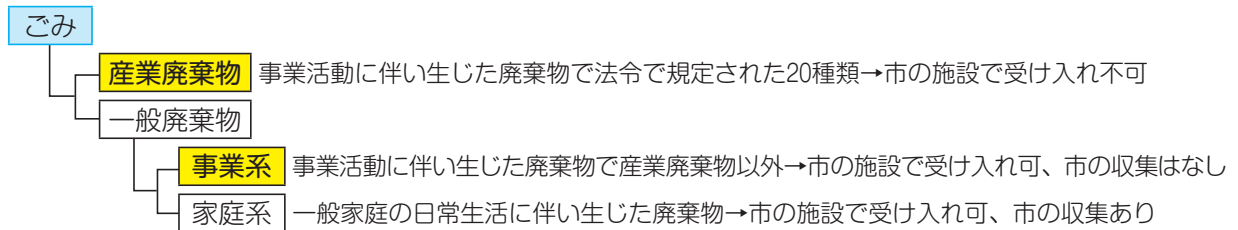
弘前市とつがる弘前農協、津軽みらい農協、相馬村農協は令和元年8月21日にごみの減量化・資源化に関する協定を締結し、農業ごみの適正排出しやすい環境づくりを協力して行っていくことなどを掲げています。各組合員の皆様におかれましても、下記をご覧の上、ごみの適正排出にご協力をお願いします。

○農業ごみの区分を知ろう

農業生産活動に伴って発生した廃棄物（以下「農業ごみ」）は、法律に基づき、産業廃棄物及び事業系一般廃棄物に分類されます。

産業廃棄物は産業廃棄物処理業の許可業者に、事業系一般廃棄物は一般廃棄物処理業の許可業者に処理を委託する等しなければなりません。

農業ごみは、たとえ個人農家が排出したのも、上記と同様に扱われるため、家庭から排出されるごみと分けて処理しなければなりません。



ポイント

農業ごみは産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分けられる→町会等のごみ置き場には出せない

○農業ごみの処理の方法を知ろう

農業ごみのうち、農業用廃プラスチック類や廃農薬、廃油、金属の廃資材などは産業廃棄物になり、紙類や木材、作物残さ（摘葉、摘果、剪定枝、栽培終了後の株等）は事業系一般廃棄物になります。

産業廃棄物は産業廃棄物処理業の許可業者に処理を委託してください。

なお、廃プラスチック類、廃農薬については、農協が定期的に行っている回収代行サービス（有料）を利用することもできます。

事業系一般廃棄物は、一般廃棄物処理業の許可業者に処理を委託するか、弘前地区環境整備センター又は南部清掃工場に直接持ち込む（有料）こともできます。

「不法投棄」や「不法な埋立」、猛毒のダイオキシンが発生しやすい「野焼き」は法律で禁止されています。重い刑罰が科せられることもありますので、絶対に行わないでください。

産業廃棄物（法令で規定）	事業系一般廃棄物
<ul style="list-style-type: none"> 農業用廃プラスチック類（ビニールハウスやトンネル、マルチ等の被覆資材、ポリ容器、波板、育苗箱、肥料や農薬の空袋・容器等） 廃農薬（期限切れ農薬等）、廃油 釘、針金、ビニペット、鉄管、機械部品 ハウスの廃資材（鉄骨等） など 	<ul style="list-style-type: none"> 紙類（ダンボールなど）、木材 作物残さ（摘葉、摘果、剪定枝、栽培終了後の株等） など

ポイント

廃プラスチック類、金属類は産業廃棄物、紙類や木材は事業系一般廃棄物

→不法投棄、野焼きなどの不適正処理は重い刑罰の対象

担当：弘前市役所市民生活部環境課廃棄物政策係32-1969



地域おこし協力隊 活動記 Vol.57



こんにちは！ 雪かきはともかく、雪は好き。そしてスキーが大好きな北野です。実は、こんなにもスキーが盛んなことを知らずに相馬に来ました。着任してびつくり！ やつぱり相馬に縁があったんだなあと、今でもしみじみ思っています。協力隊として3回目の冬を迎えました。今号では雪上での活動をお伝えします。

【相馬小学校 スキー学習】

わの経験と得意なこと、相馬のわらはんどのためにできることは何か？ 今冬もスキー学習を手伝いました。

昨年の経験から、同じチームを継続的に教えることで、授業内容がより浸透するのではないかと考え、6年生のBチーム（5名）を毎回担当させていただきました。

記録会までの間に、みんなが自分自身で上達を感じられることを目標に、テーマを設定し練習しました。そのテーマは「視線」。安全に速く滑るために最も必要なことの一つを集中して取り組みました。みんなは上達しているの感じてるかな？ しっかりできてるよ。この上達を楽しんでいると感じていたら、嬉しいな！



【ナイタースキー教室】

そうまロマントピアスキークラブ主催のナイタースキー教室。

スキーの楽しさを子どもたちに伝えたく、今季も主に水曜の夜、わも雪上に立っています。

昨年来ていた子が、また来てくれたり、嬉しい再会もありました。子どもたちの上達はホント早い！ ちよっとしたきっかけで、みるみる上達していく姿を見られるのが、今は密かな楽しみです。

スキーをしに相馬に来る人がもっと増えるといいな。また来シーズンも継続したいと思っています。



【弘前大学留学生 校外授業】

今年も弘前大学の交換留学生20名が、雪国での冬の文化を学びに相馬へやってきました。相馬人の活動を引き継いだ校外授業も今冬で4年目。毎年リピートして頂けるのは嬉しい限りですね。

今年は、ロシアとブラジルが加わって、フランス、ニュージーランド、アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、中国、台湾、韓国の11か国から来相。

スキー体験では、ロマントピアスキークラブの先生方が大活躍。がしかし、今年の学生は手ごわかった。初めてリフトに乗った学生たちを、下までおろすのが大変でした。でも

学生たちは、相馬で体験した初めてのスキーを楽しんでましたよ。異国の地での貴重な思い出を胸にまた相馬に遊びに来てくれたら嬉しいな。今年も、スキー場、ロマントピアスキークラブの皆さんから絶大な支援をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)





今日も農協の役員室。来ている。

二人来ていた。腰が痛くて剪定は

「ゴメンだとか、血圧が高いのでム

リはされないとか、それぞれリク

ツを付けている「油売り」だ。

五所の放送局「〇〇家のカッチャ

が、風邪ふいだと言って三日も寝

ているそつだ。本当は風邪ではな

く、ストライキらしい」

湯口の回覧板「家の中の内乱か？

原因はなんだ。サントゴ（財布）

を持たせないとか、子供の進学の

ことで意見が合わないとか……」

放送局「そつではなく、トッチャ

がカジマジに二号をつくっている

からだとか……」

回覧板「それは、それはモニリア

とかクロホシよりも悪いよ」

放送局「貯金通帳もカッチャに見

せないようになったとか」

回覧板「ソレダバ寝で起きないわ

けだよ」

× × ×

放送局「わが家にカネはないけれ

ども昔の物は少し有るな」

回覧板「例えばどういう物？」

放送局「昔の一銭ダラ（銅貨）と

か、ゲートルとか、ランプとか。

親が陸軍の将校だったから指揮刀

もあるよ」

回覧板「どこかの家に昔の荷車や

馬ばま籠かごがあるかな。馬の蹄鉄ていそくがあ

れば宝物だよ」

× × ×

放送局「ところで、安倍首相が桜

を見る会などでミノをつけてい

るが、安倍内閣はいつまで続く

か？」

回覧板「ウーン、長く続けばホコ

リも出てくるな。次の首相は？

岸田？ 菅？ 黙々と習っている

のは菅か。菅は農協嫌いの人だと

か——」

放送局「二階幹事長は古色蒼然た
るものだなー、あのダニ声も……」

小欲

豊心


世の中に大欲
々千太郎とあるが

美

二月の川柳

吹雪中
令和の飛馬堂々 海外迄も
新選果機
奇軽やかに強力に
初給料
爺婆のマッコにお返しし宝孫

(田沢勝衛)



自動車税（種別割・環境性能割）の減免制度のお知らせ

令和元年10月1日から、自動車税は「自動車税種別割」、自動車取得税は「自動車税環境性能割」に名称が変更されました。

身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育（愛護）手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方またはその方と生計を一にする方が、これらの手帳の交付を受けている方の生業、通院、通学などのために自動車を利用している場合で、その障害の程度や自動車の使用状況などが一定の条件に該当するときは、申請により自動車税（種別割・環境性能割）の減免を受けることができます。

詳しくは中南地域県民局県税部までお問い合わせください。

※軽自動車税（種別割・環境性能割）については、市町村の税務担当課にお問い合わせください。

【問い合わせ先】中南地域県民局県税部 納税管理課
電話0172-32-4341（直通）

編集部をつぶやき～編集後記～

皆様いつも林檎の森ご購入いただきありがとうございます。

今年は積雪が少なく暖冬と、過ごしやすく、農作業も行いやすいシーズンになっていますね。表紙にもある剪定隊の方に限らず農家の方は作業がはかどっているようです。私が剪定作業の現場にお邪魔しても始めは全然分からないが多かったのですが何回か剪定会などに行き話を聞くうちにわずかながら徒長枝はまっすぐ上に伸び、花芽がつくことはほとんどない、ということなど理解できる事が出来ました。でも基本中の基本の話だと思っていますのでこれからもっと多くの事を学んでいきたいと思っています。

By tomoshi

理事会だより 1月22日（水）

- 1) 12月末残高試算表及び仮決算について
- 2) 出資金の減口及び脱退について
- 3) 組合員の名義変更について
- 4) カード規定等および振込規定の一部改正について
- 5) 不良債権四半期報告について
- 6) 貸付関係について
- 7) りんご販売関係について

今月のあなたの運勢 ★ 3月 ★

モサ・オサンドラ 

<p>♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19</p> <p>全体運 上昇運です。周りの様子を見ながらゆったり進めましょう。いい感じでまとまり、あなたへの信頼も深まります</p> <p>健康運 無理は禁物です。疲れたら早めに休んで</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 フキのとう</p>	<p>♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20</p> <p>全体運 良好です。疎遠だった人とも連絡が取れ、うれしいニュースも。近距離の旅行にもツキが。お花見の計画を立てて</p> <p>健康運 体力アップのチャンス。運動量を増やして</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 サワラ</p>	<p>♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21</p> <p>全体運 予定通りに進まずイライラすることが。でも、下旬には解消。連絡の悪さは小まめな確認でカバーしましょう</p> <p>健康運 以前やっていた健康法を復活させると◎</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 春キャベツ</p>	<p>♋ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22</p> <p>全体運 ハブニング運ですがラッキー要素もいっぱい。予想外のことを楽しむ気持ちが開運につながります。臨機応変に</p> <p>健康運 何でもやり過ぎず規則正しくを心掛けて</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 カラシナ</p>
<p>♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22</p> <p>全体運 春がそこまで来ています。暖かくなってきたからするの準備を先取りすると、幸運の呼び水に。新プランにツキ</p> <p>健康運 リラックスを心掛けて。温かい飲み物を</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 レモン</p>	<p>♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22</p> <p>全体運 行動的なほどツキに恵まれます。歓送迎会の計画を立てるなど、人と会う行事を大切に。うれしいハブニングも</p> <p>健康運 筋力アップの好機。ハードな運動も◎</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ツクシ</p>	<p>♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23</p> <p>全体運 あちこちから声が掛かり、交通整理が大変かも。自分の意見をちゃんと伝えて。あいまいにしておくとお困ることに</p> <p>健康運 準備体操と休憩が大事。無理のない運動を</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ルッコラ</p>	<p>♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22</p> <p>全体運 対人運が活発化。待っていた吉報も入りにつこりできそう。ただ交際費がかかるのが玉にさず。家計簿を付けて</p> <p>健康運 ダンスやグループで楽しむスポーツが◎</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 シラス</p>
<p>♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21</p> <p>全体運 問題続出で頭が痛いかも。失言には気を付けて。下旬から運勢は急上昇。相手を思いやる気持ちが困難解消へ</p> <p>健康運 暴饮暴食に注意。漢方薬の効果に期待</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 タラの芽</p>	<p>♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19</p> <p>全体運 滞っていたことが進みだし波に乗れます。リーダーシップを発揮して◎。仲間外れをつくらない気遣いで人気者に</p> <p>健康運 頑張り過ぎないで。発熱、歯痛には注意</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 タケノコ</p>	<p>♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18</p> <p>全体運 お金の問題が持ち上がり慌てそう。冷静に対処すれば大丈夫です。防犯を心掛けて家族で詐欺対策の話し合いを</p> <p>健康運 質の良い睡眠が健康を支えてくれます</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ニシン</p>	<p>♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20</p> <p>全体運 活発に動くほどラッキーに巡り合えます。外出、人と会う予定を優先して。ショッピング運も好調。くじ運あり</p> <p>健康運 新しい健康法を試してみましよう</p> <p>幸運を呼ぶ食べ物 ナバナ</p>

表紙物語

今月の表紙はJA相馬村剪定隊のメンバーの集合写真である。

今回チームウェアを剪定隊で初めて揃えた記念で撮影することになった。帽子も揃え、チームロゴマークも入り「SOMA CONTRACT PRUNING PARTY」の頭文字を取った「SCPP」の文字が輝いて見えた。チームは更にチーム力を増したように感じまさに「ONE TEAM」であった。

剪定隊はメンバー11名が相馬管内でリンゴ生産者から剪定作業を請け負う活動をしており、隊長である紙漕沢地区の成田達也さんがまとめ上げ、さらに隊員の剪定技術の向上の意味も込めて取り組んでいる。今年は雪が少なくスタートが早かった為いつもなら2月に入るまで取り掛かっているが、その前に今年は終えることが出来た。成田隊長は「ウェアでチームの絆がより強くなった事でメンバー丸となってこれからも怪我無く続けられた」と意気込んでいる。



中央に書かれた剪定鉋が存在感を出すチームロゴ



メンバーで相談し合い作業をする



成田隊長から教わりながら取り組む隊員



高枝鉋班と鋸班で効率よく作業

JA相馬村広報

林檎の森

2020.2 Vol.451

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2020年2月15日

JA 相馬村概況

〈令和2年1月末日現在〉

組合員数	867人
（うち准組合員数	366人）
出資金	628,330千円
貯金額	9,323,844千円
共済保有高	3,318,642万円